

# 一般常識—1 (解答番号 ~ ) 平成 18 年度

各問題に対する解答は配布したマークシートの解答欄にマークすること。

例えば  と表示のある問題に対して⑤と解答する場合は、解答番号  の解答欄の⑤にマークすること。

1 次の(1)~(4)の各文を読み、問 1 ~ 問 4 に答えなさい。

(1) 地方公共団体が国の統制から独立した形で十分に活動を行うためには、自主財源が確立していることが望ましい。しかし実際には、地方税などの自主財源だけでは賄うことは困難であり、地方財政は大幅に国に依存している。国からの財政援助の方式としては、地方公共団体間の財政上の不均衡をただすために、国税の一部を配分する( A )の制度や、義務教育や道路・河川の整備・改修などの経費の一部を国が負担する( B )の制度などがある。さらに( B )は、その内容に応じて国庫負担金、国庫補助金、国庫委託金に三区分できる。なお、1999 年の地方分権一括法の制定により、2006 年から自治体は国の許可なしに( C )を発行できることになった。

問 1 文中の空欄( A )~( C )に当てはめるのに最も適当な語句を下記の[語群 I]から選び、それぞれ番号を解答欄にマークしなさい。(各 2 点 × 3 = 6 点)

A  , B  , C

(2) 戦後日本の労使関係の特徴は、「日本の雇用慣行」として説明されてきた。その一般的な内容としては、会社がいったん雇った労働者を定年まで解雇しない( D )、勤続年数に応じて賃金や社内の地位が上がっていく( E )、企業ごとにそこで働く正社員を中心に組織された( F )などが挙げられる。しかし、1980 年代以降の経済状況の変化に伴い、こうした「日本の雇用慣行」は崩れつつあり、とくに最近の変化は著しい。

問 2 文中の空欄( D )~( F )に当てはめるのに最も適当な語句を下記の[語群 I]から選び、それぞれ番号を解答欄にマークしなさい。(各 3 点 × 3 = 9 点)

D  , E  , F

(3) 1985 年の G5 によるドル高是正のための協調介入への合意を( G )合意といい、日本の円高不況の原因となった。その後も 1987 年に G5 にイタリア、カナダを加えた G7 による( H )合意によって、今度はドル安に歯止めをかけるため、「為替相場を現行の水準の周辺に安定させる」ことで合意がなされたが、ドルの下落は止まらなかった。

問 3 文中の空欄( G )( H )に当てはめるのに最も適当な語句を下記の[語群 II]から選び、それぞれ番号を解答欄にマークしなさい。(各 3 点 × 2 = 6 点)

G  , H

(4) 経済の実態からかい離した( I )や地価の過剰な値上がりを一般に( J )と呼び、1991 年の( J )崩壊は、日本経済に長期の停滞をもたらした。( J )崩壊後の停滞のなかで、金融機関の貸出金が( K )となり、金融機関の破たんや公的資金の注入が相次いだ。

問 4 文中の空欄( I )~( K )に当てはめるのに最も適当な語句を下記の[語群 II]から選び、それぞれ番号を解答欄にマークしなさい。(各 2 点 × 3 = 6 点)

I  , J  , K

[語群 I] (1) 企業別組合 (2) 終身雇用 (3) 地方消費税 (4) 地方債 (5) 成果主義  
(6) 赤字国債 (7) 地方交付税 (8) 産業別組合 (9) 年功序列 (10) 国庫支出金

[語群 II] (1) ルーブル (2) ファンダメンタルズ (3) リツ (4) プラザ (5) バッキンガム  
(6) バブル (7) 不良債権 (8) 株価 (9) 租税 (10) 石油ショック

(裏面に続く)

## 一般常識—2(解答番号 1 ~ 40) 平成18年度

2 次の文章を読み、問1~問5に答えなさい。

日本の伝統的産業が生み出すさまざまな製品には、江戸時代に特産品として全国的に名前を知られるようになったものが多い。<sup>(1)</sup> 醤油や日本酒(清酒)といった日本を代表する醸造製品も、その一例である。

このうち醤油に関しては、一大消費地としての江戸の発展により、江戸からの水運の便が良い(ア)や(イ)が明治期以降にあっても発展を遂げ、(ア)(イ)のある県は、日本の醤油生産量都道府県別シェアで首位を占めている(2005年)。しかし、醤油の主原料の一つである(ウ)は、そのほとんどを輸入に依存しており、世界第1位の生産高を誇る(エ)からの輸入量が7割以上を占めている。ほかに、(オ)やアルゼンチンといった国的世界生産量に占める割合が大きく、(オ)から日本への輸入量は第2位を占めている(注:世界の生産量、日本の輸入量はいずれも2003年数値)。

清酒醸造業は、江戸時代に伊丹、池田などの地域の酒造家たちによって、「三段仕込み」といわれる技術が開発されたことによつて、産業として確立していった。現在でも清酒の基本的な醸造方法は変わっていないが、清酒の定義は酒税法により定められている。<sup>(2)</sup> ほか、その製法品質表示に関しても基準が定められている。

問1 下線部(1)の特産品と産地(現在の都道府県名)の組み合わせで、適当でない組み合わせを下記の①~⑧から2つ選び、それぞれ番号を解答欄にマークしなさい(順不同)。(各2点×2=4点)

- ① 将棋駒一山形    ② 九谷焼一石川    ③ 久留米絣一京都    ④ 和三盆一群馬  
⑤ 高岡銅器一富山    ⑥ 小千谷縮一新潟    ⑦ 雲州そろばん一島根    ⑧ 伊万里焼一佐賀

12, 13

問2 空欄(ア)(イ)に入れるのに最も適当な市名(2005年末現在)を2つ選び、それぞれ番号を解答欄にマークしなさい(順不同)。(各2点×2=4点)

- ① 焼津    ② たつの    ③ 伊賀    ④ 野田  
⑤ 津    ⑥ 銚子    ⑦ 浜松    ⑧ 神戸

14, 15

問3 空欄(ウ)に入れるのに最も適当な穀物名を選び、番号を解答欄にマークしなさい。(3点)

- ① 米    ② 燕麦    ③ 大麦    ④ 大豆    ⑤ 小豆

16

問4 空欄(エ)(オ)に入れるのに最も適当な国名を2つ選び、それぞれ番号を解答欄にマークしなさい。

(各3点×2=6点)

- ① 中国    ② ロシア    ③ アメリカ    ④ ブラジル  
⑤ インド    ⑥ トルコ    ⑦ エジプト    ⑧ カナダ

17, 18

問5 下線部(2)に関連して、以下の①~⑤で誤りを含む文章を2つ選び、それぞれ番号を解答欄にマークしなさい(順不同)。

(各3点×2=6点)

- ① 清酒の原材料には、米、醸造用アルコール以外のものは含まれていない。  
② 清酒の醸造工程には、必ず「濾す」という工程が含まれなくてはならない。  
③ 「純米酒」表示は、醸造用アルコールを添加してあっても認められている。  
④ 「吟醸酒」表示は、原料米の精米歩合が60%以下(米の外側を40%以上削る)であることが条件の一つである。  
⑤ 「大吟醸酒」表示は、原料米の精米歩合が50%以下(米の外側を50%以上削る)であることが条件の一つである。

19, 20

# 一般常識—3 (解答番号 1 ~ 40) 平成 18 年度

3 次の各文章の( )にあてはまる語句を選択肢の中から選びなさい。(各 3 点 × 10 = 30 点)

(1) 1年に( 1 )回発表される「直木賞」は文芸作品に対する日本の代表的な賞のひとつであり、作家の( 2 )からその名を取っている。また、下記 3. のリストのうち、直木賞受賞作品でないのは、( 3 )である。

(1) 21, (2) 22, (3) 23

- |                  |                  |                      |            |
|------------------|------------------|----------------------|------------|
| 1. ① 1           | ② 2              | ③ 3                  | ④ 4        |
| 2. ① 直木三十五       | ② 直木孝次郎          | ③ 直木松太郎              | ④ 直木倫太郎    |
| 3. ① 佐藤賢一『王妃の離婚』 | ② なかにし礼『長崎ぶらぶら節』 | ③ 江國香織『号泣する準備はできていた』 | ④ 東野圭吾『手紙』 |

(2) ショパン国際ピアノコンクールは、その難易度で世界的に有名である。5年に一度( 4 )で開催され、今まで多くの日本人が挑戦してきた。2005年の第15回コンクールでは、日本から関本昌平、( 5 )の二氏が入賞した。

(4) 24, (5) 25

- |            |        |        |        |         |
|------------|--------|--------|--------|---------|
| 4. ① ワルシャワ | ② プラハ  | ③ ウィーン | ④ ミラノ  | ⑤ ブカレスト |
| 5. ① 小山実稚恵 | ② 中村絃子 | ③ 山本貴志 | ④ 内田光子 | ⑤ 橋本久貴  |

(3) 2006年には、( 6 )で冬季オリンピック、ドイツでサッカー・ワールドカップが開催された。このような4~5年周期で行われる国際的なイベントは、国同士、都市同士が開催をめぐってし烈な競争を繰り広げている。日本でもこのような大きなイベントが何度も開催されたが、( 7 )年長野冬季オリンピックや2005年の愛知万博のように、財政負担や環境破壊で国内・地域内でも意見が対立することがある。昨年2012年の夏季オリンピック開催地が( 8 )に決定されたばかりであるが、2016年の開催地に立候補するかどうかが日本国内でもすでに議論になっている。

(6) 26, (7) 27, (8) 28

- |                |          |            |        |        |
|----------------|----------|------------|--------|--------|
| 6. ① ソルトレーキシティ | ② タラサ    | ③ リレハンメル   | ④ トリノ  | ⑤ トリポリ |
| 7. ① 1994      | ② 1996   | ③ 1998     | ④ 2000 | ⑤ 2002 |
| 8. ① ロンドン      | ② ニューヨーク | ③ サンフランシスコ | ④ 北京   | ⑤ モスクワ |

(4) 日本のパスポートで使用されている日本語のローマ字表記は( 9 )を土台にしている。これを考案したジェームス・カーティス・ヘップバーンは( 10 )で生まれた。

(9) 29, (10) 30

- |            |       |        |          |           |
|------------|-------|--------|----------|-----------|
| 9. ① ヘボン式  | ② 訓令式 | ③ 伝達式  | ④ サイフォン式 | ⑤ 日本式     |
| 10. ① イギリス | ② カナダ | ③ アメリカ | ④ シンガポール | ⑤ オーストラリア |

## 一般常識—4 (解答番号 1 ~ 40) 平成 18 年度

4 次の各文章の( )にあてはまる語句を次の語群から選びなさい。(各 2 点 × 10 = 20 点)

- (1) 日本の少数民族保護の法律として( )年に制定されたアイヌ文化振興法(アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律)は、北海道旧土人保護法(1899 年)を廃止するとともに、アイヌの民族性・文化性を積極的に認める目的を持っている。

31

- (2) 国籍の取得要件は国によって異なっている。出生によって日本国籍を取得するには、①出生のときに( )が日本国民である ②出生前に死亡した父が死亡の時に日本国民であった ③日本で生まれ、父母がともに不明、または無国籍のいずれかである必要がある。また①の場合で、父が日本国籍、母が外国籍で、婚姻関係にないとき、胎児認知されている必要がある。

32

- (3) 日本では、刑事責任年齢は刑法で( A )歳と決められており、( A )歳未満の少年が罪を犯したときには刑事責任は問わない。2000 年の少年法改正で刑事処分ができる年齢は、( B )歳から( C )歳に引き下げられた。(同じ番号を選んでもよい。)

A 33, B 34, C 35

- (4) 平成 17 年の国勢調査によると、人口が多い都道府県は 1 位：東京都、2 位：( )、3 位：( )である。

また、人口が多い市町村は、東京区部をのぞくと、1 位：横浜市、2 位：( )、3 位：( )である。

都道府県 2 位 36, 3 位 37

市町村 2 位 38, 3 位 39

- (5) 日本では近年、景観を保護・整備することへの関心が高まり、( )年に景観法が制定された。これにより、都道府県や市町村は、景観計画に適合しない建造物を建設しないよう、事業者に設計の変更を命ぜることもできる。

40

### 語 群

- |            |        |         |         |        |
|------------|--------|---------|---------|--------|
| (1) ① 1958 | ② 1966 | ③ 1973  | ④ 1985  | ⑤ 1997 |
| (2) ① 父    | ② 母    | ③ 父または母 | ④ 父および母 |        |
| (3) ① 10   | ② 12   | ③ 14    | ④ 16    | ⑤ 18   |
| (4) ① 大阪府  | ② 神奈川県 | ③ 愛知県   | ④ 埼玉県   |        |
| ⑤ 大阪市      | ⑥ 名古屋市 | ⑦ 札幌市   | ⑧ 神戸市   |        |
| (5) ① 1970 | ② 1977 | ③ 1985  | ④ 1996  | ⑤ 2004 |